（別紙５）

整 理 番 号　2021P-019
補 助 事 業 名　2021年度自転車安全利用等､人にやさしい健康で安全な社会づくりの推進、交通マナーや正しい乗り方などを啓発する事業補助事業
補助事業者名　一般財団法人 日本自転車普及協会

１　補助事業の概要

（１）事業の目的

自転車を利用することにより、豊かな自然と快適な生活環境を確保し、健康で明るい社会づくりのため自転車利用の環境促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

（２）実施内容

①自転車普及啓発イベント

ア)自転車に関する企画催事　(https://cycle-info.bpaj.or.jp/?tid=100528)

下記の企画催事を開催した。

名　称 :『2022 ハンドメイドバイシクル展』
期　間 : 2022 年 1 月 22 日（土）～1 月 23 日（日）
開催場所 : 科学技術館　1～5 号催事場（東京都千代田区北の丸公園 1－1）
内　容 : 「ハンドメイドバイシクル展」は新型コロナウイルス感染症感染拡大の観点から 2 年ぶりの実開催となった。国内における経験と実力を持ったハンドメイドビルダー、メーカーの実車・部品等を展示し、その高い技術と自転車に対する深い造詣、そうした匠の技を自転車愛好家だけでなく広く一般の方々にも分かりやすく紹介し、ハンドメイドバイシクルの魅力を発信することができた。また、コロナ禍という状況から、併催したトークショーはリアルタイムにてインターネット配信を行った他、各ブースの様子を出展社インタビューを交え撮影し、YouTube にて公開するなどしたことで、実開催と、オンライン開催のハイブリット開催としてより多くの人の目に触れることができた。

来場者数 : 1,379 人　(3 月末時点トークショー再生回数視聴者数 4,075 回)

会場の様子①

会場の様子②

（別紙５）

イ）自転車に関するテーマ展示

自転車文化センターライブラリー・ギャラリーにおいて、来館者に自転車の持つ多様な活用法とその魅力を紹介するため、以下のテーマ展示を行った。

※補助事業は(2)～(4)のみ

㋐ 第１回テーマ展示「自転車月間展」

期間：2021 年 4 月 28 日(水)～6 月 27 日(日)　来館者数：212 名

㋑ 第２回「競輪の魅力展～競輪自転車の仕組みを知ろう～」

期間：2021 年 6 月 30 日(水)～9 月 26 日(日)　来館者数：438 名

㋒ 第３回テーマ展示「おもしろ自転車展」

期間：2021 年 9 月 29 日(水)～12 月 12 日(日)　来館者数:411 名

㋓ 第４回テーマ展示「自転車文化センター開設 40 周年記念展」

期間：2021 年 12 月 15 日（水）～ 2022 年 3 月 31 日（木）　来館者数：409 名

「競輪の魅力展～競輪自転車の仕組みを知ろう～」

「おもしろ自転車展」

「自転車文化センター開設40 周年記念展」

（別紙５）

ウ）自転車月間イベント（http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2021/）

「オンラインサイクルドリームフェスタ 2021」

㋐5 月 5 日「自転車の日」に合わせて、オンライントークショーを開催し、YouTube にて LIVE 配信をした。

	オンライントークショー （5/5） 自転車の日に LIVE 配信 視聴回数 4,281 回

㋑ 動画制作・配信 10 本　2021 年 5 月 1 日(土)～5 月 28 日(金)

「自転車月間（自転車の日／5 月 5 日）」及び月間趣旨のより一層の普及啓発を図るため、自転車月間「自転車の日」記念行事『オンラインサイクルドリームフェスタ 2021』として 10 本の動画を制作し、YouTube 配信した。

（視聴回数は　2021.5.1～2021.6.30 のデータです）

5/1 配信	5/4 配信	5/7 配信	5/10 配信	5/13 配信
タカムラ製作所 910 回	バイシクルタウン 青山　386 回	ミズタニ自転車 1,260 回	サイクルスポット 645 回	テクプラパーク 357 回
5/16 配信	5/19 配信	5/22 配信	5/25 配信	5/28 配信
5LINKS 432 回	メリダジャパン 487 回	ジェイミス ジャパン 1,114 回	ジック 1.2 万回	近藤機械製作所 2,202 回

②自転車による地域活性化促進事業

全国統一自転車促進キャンペーン　　2021年度統一事業実施報告書pdf

レンタサイクル修繕事業　　2021年度レンタサイクル修繕事業実施報告書pdf

バイコロジー地域リーダー養成セミナー　2021年度地域リーダー養成セミナー報告書pdf

コロナ禍において､細心の注意を払いバイコロジー地方組織交通ルールの遵守と自転車乗用マナーの向上を訴えるキャンペーン活動を実施した。また、人の往来が少ないこの時期を生かし、観光客用レンタサイクル修繕を行った。更に日本ナショナルチームのメカニックによるセミナーを開催した。以上の活動により自転車安全利用の向上を図った。

（別紙５）

1	2	3
統一キャンペーン（南さつま）	レンタサイクル修繕（山口防府）	レンタサイクル修繕（葛飾）
4	5	6
セミナー配信風景 講師：齊藤 健吾氏	セミナー配信風景 MC：栗村 修(右側)	セミナー配信風景 撮影チーム(本会職員)

２　予想される事業実施効果

①自転車普及啓発イベント事業

ア）企画催事

新型コロナウイルスの影響により「密を避けての移動」という観点や、在宅勤務等による巣籠からの運動不足解消にと、“自転車”が注目されております。

ハンドメイドバイシクルは、レース、サイクリングなどの“趣味としての自転車”のみならず、子ども、障がい者、高齢者を対象とした幅広い範囲を対象としております。また、各ビルダーの創意工夫、匠の技術が施されたものも多く、工芸品としての一面も持ち合わせており、「乗って」「見て」両方で楽しめる自転車であります。

今後、コロナ禍が収束に向かうことで、サイクルツーリズム等レジャーが盛んになることが予想され、“移動”だけではなく、余暇や暮らしの質を高めるツールとしの自転車が再び注目されることが期待できます。

その中で、多くの出展社を誇る等展示会は、国内において唯一無二の存在であるため注目が高まるとともに、日本のみならず、海外に向けても発信することで日本の技術力の高さを世界に発信する場となることが期待される。

イ）テーマ展示

主に、自転車文化センターが所蔵している希少な歴史的自転車、部品やポスターなどを有効活用するため、“自転車”に関する各種テーマを設け、身近で便利な移動手段に留まらない自転車の魅力を紹介する。展示の中では、歴史的な自転車を随時展示し、「いつでも歴史的な自転車を見ることが出来る施設」として認知を拡げる。

リピーターの来館者はもとより、新規来館者を誘致するきっかけとなるよう自転

（別紙５）

車に関する豊富で新たな情報を積極的に提供するとともに、メディア等の露出機会にも積極的に応じ、当センターの存在をアピールすることで、自転車の魅力、文化の醸成を図るものとする。

ウ）自転車月間イベント

自転車月間事業を円滑に推進することにより、自転車月間の趣旨が広く一般に浸透・定着していくことが予想される。「自転車の日」記念事業を通じて月間の周知・趣旨の浸透が図られることにより、国民における自転車の安全利用意識の向上が期待できる。

体験型イベント以外にもオンラインを導入させ、途切れないよう継続して実施することで、知名度も上昇し、一般のみならず、国や地方自治体、警察などからもイベントへの関心が高まり、協力が得られ、自転車月間イベントの目的を果たすことに繋がると期待できる。

また今回の広報として、自転車 YouTuber とコラボ企画として、出展社へのインタビュアーを依頼し、動画に出演していただいた。

また自身の YouTube にも告知動画をアップしていただき、自転車には興味が無い方も視聴することで、新たなファン獲得につながるきっかけを作った。

②自転車による地域活性化促進事業

全国統一自転車促進キャンペーンを実施することで、自転車利用者に「正しい自転車利用の啓発」を行い自転車交通ルールの再認識してもらう。

観光客向けのレンタサイクル修繕により自転車が快適で楽しいレジャーであることを伝え自転車愛好者の増加に繋げていきたい。」

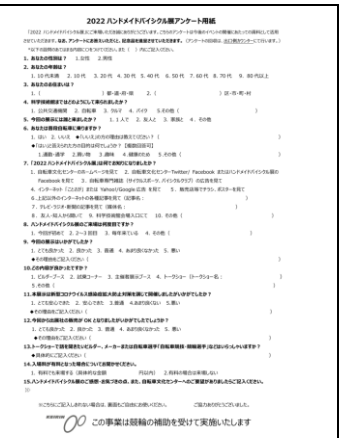
セミナーにて得た知識を地元自治体の自転車対策や自転車ファンへの知識を養う。

以上のように自転車普及啓発の発信提供する存在となる。

３　補助事業に係わる成果物

（１）　補助事業により作成したもの

・ハンドメイドバイシクル展印刷物

		
ハンドメイドバイシクル展 チラシ・ポスター	ハンドメイドバイシクル展 会場案内（両面）	ハンドメイドバイシクル展 来場者アンケート

（別紙５）

・令和3年度自転車月間「自転車の日」記念行事事業報告書
(http://www.bpaj.or.jp/cyclefesta2021/)

・「オンラインサイクルドリームフェスタ2021」ポスター

（別紙５）

・自転車安全利用促進キャンペーンパンフレット

パンフレット（表）	パンフレット（裏）

（２）（１）以外で当事業において作成したもの

該当なし

４　事業内容についての問い合わせ先

団 体 名：　一般財団法人 日本自転車普及協会
（ニホンジテンシャフキュウキョウカイ）
住　　所：　〒141-0021
東京都品川区上大崎３丁目３番１号
代 表 者：　会長　石黒 克巳（イシグロ カツミ）
担当部署：　事業課（ジギョウカ）
担当者名：　課長　村山 吾郎（ムラヤマ ゴロウ）
電話番号：　03-4334-7952
Ｆ　Ａ　Ｘ：　03-4334-7957
Ｅ-ｍａｉｌ：　murayama@jifu.jp
Ｕ　Ｒ　Ｌ　：　http://www.bpaj.or.jp